

海と共に

広報

当組合の通常総代会

当組合は6月30日、本年度通常総代会を石巻市の河北総合センターで開催しました。昨年度事業報告、本年度事業計画などの議案をいずれも原案通り可決、決定。昨年度、養殖主要5品目の価格に恵まれるなどで事業利益が膨らみ、14億円超の剰余金を計上、繰り越し欠損金を解消しました。

昨年度剰余金14億円超

繰越し欠損金解消を報告

組合員減少、漁業継続に力



あいさつする丹野一雄会長

組合員に感謝

丹野一雄経営管理委員会会長の通常総代会あいさつ(要旨) 昨年度は安定した価格形成で漁期を終えることとなりました。その結果、14億円を超

た。(2面に「主要な取り組み課題」と「事業成績」などの資料) 昨年度は、事業利益が9億4千万円、経常利益が11億2200万円といずれも前年度の2倍近くに達し、当期剰余金14億2100万円を計上。繰り越し欠損金1億5900万円を解消し、震災当時の想定より大幅な前倒しとなりました。自己資本比率は26.46%となり、前年度末より3.70ポイント上昇。

販売事業で、養殖のギンザケとカキが高値終始、ノリとワカメは高単価、ホタテ価格も堅調で主要5品目全てが順調でした。購買事業も国の復興事業活用で資材類の取り扱いが計画超え。信用事業も、貯蓄推進運動の積極的な展開や県と沿岸市町村からの公的貯金受け入れで運用収益が増加しました。これらの経済事業に加え、事業管理費の

削減が事業利益を押し上げました。しかし、組合員は減少が続き、前年度より305人減り9537人となりました。正組合員は358人減の3732人、准組合員は53人増の5805人です。本年度事業計画では、「厳しい環境が続く」との認識を示しました。原発事故の風評被害と資材価格の高止まりが続くと懸念され、沿岸地区を中

心に生活基盤の復旧もこれからとなるからです。そうした状況下で本県漁業の持続可能な発展を図るため、基本方針として、「被災組合員の漁業継続や漁業者所得の安定・向上が不可欠であり、これらの支援に着手し、取り組むこと、当組合の着実な経営改善を図ること」を挙げました。

経営改善計画(平成25~27年度)の変更では、昨年度の事業実績を組み

ホヤ旬も出荷厳しく

輸出止まり内販拡大重要に



長い列ができた奇麗養殖部会の「金華ほや」ほたて祭(奇麗漁港・6月7日)

ホヤはいまが旬で出荷の伸びが期待されますが、韓国輸出がストップしたままで厳しい水揚げを余儀なくされています。当組合は生産者の皆さんとともに輸出再開を県や国に働きかけているものの、来シーズンに繰り越し4年子の増加が避けられそうにありません。

韓国の輸入禁止は福島原発事故によるもので、宮城など8県の全ての水産物が対象です。6月下旬にWTO(世界貿易機関)協定に基づき日韓2国間協議がスイスで開かれましたが、韓国側から輸入規制撤廃に向けた見通しは示されませんでした。

える当期剰余金を計上することとなり、合併以来かかえていた繰り越し欠損金を予想より前倒しで解消可能となりました。これもひとえに総代をはじめ、全組合員のご尽力とご協力のたまものであり、心より感謝申し上げます。

この結果に甘んじることなく、さらなる漁業の復興、ひいては漁業経営の確立、発展を目指し鋭意邁進(まいしん)する所存でありますので、本年度においてもさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

北部では、ザラボヤ駆除のため「沖洗い機が必需品」と話す生産者もいます。次の半成員が入る秋まである程度出荷しないと、耳づりによる出荷中断で、ザラボヤが成長して垂下綱を覆うようになり水揚げが難航する恐れもあります。

下だ。多く養殖している人が残ったものの、残った人の施設台数は震災前と同じで増えていない。7500トンは北海道から順調に半成員が入ることが前提になる。

いまの329人より減ってはどうかというもな

ホタテ水揚げ最盛期

付着物が激増、厄介に



最盛期を迎えたホタテの水揚げ

中部では、500トンを翌朝6時に出荷するために掃除に手間取るため、夜10時に水揚げに向かう人もいるそうです。フジツボは大きくなると洗浄カッター2回がけや手ばたきなどで手間増える心配されます。

価格維持で魅力ある養殖に

本所はたて部会の大江清明部会長(女川町支所 明部会長)に、今後



大江清明部会長

の生産動向や価格維持について聞きました。

ホタテの水揚げは今後

も7500トくらいが限界

も7500トくらいが限界

界と思う。震災前の平成

21年は兼業者も含め71

協同組合論

東京海洋大学准教授
濱田 武士

①



現在、政府は農協改革を進めています。もうかる農業を実現するための農協、農業に係わる事業でもうけた利益を出資者に配当できる農協になれというのが、ただ、この法案の内容をよく見てみれば「協同組合」という前提がすっぽりと抜け落ちています。漁協としても見逃せない内容になっていきます。

ならば協同組合とは何でしょうか。ここではこれについて考えてみたいと思います。

協同組合には確固たる組織原理があります。誰のための団体かという組合員のための団体で

現在、政府は農協改革を進めています。もうかる農業を実現するための農協、農業に係わる事業でもうけた利益を出資者に配当できる農協になれというのが、ただ、この法案の内容をよく見てみれば「協同組合」という前提がすっぽりと抜け落ちています。漁協としても見逃せない内容になっていきます。

ならば協同組合とは何でしょうか。ここではこれについて考えてみたいと思います。

協同組合には確固たる組織原理があります。誰のための団体かという組合員のための団体で

現在、政府は農協改革を進めています。もうかる農業を実現するための農協、農業に係わる事業でもうけた利益を出資者に配当できる農協になれというのが、ただ、この法案の内容をよく見てみれば「協同組合」という前提がすっぽりと抜け落ちています。漁協としても見逃せない内容になっていきます。

販売力強化

小野秀悦専務に聞く



漁船や養殖施設などの生産基盤が震災被害からほぼ復旧した現状で、当組合は組織的、戦略的に販売力強化に力を入れ、生産物の価格上昇と組合員所得の向上を目指しています。小野秀悦専務にその道筋を聞きました。

販売力強化はなぜ必要なのでしょうか。小野専務 組合員へのアンケートなどから、生産規模が現状のまま頭打

現在、政府は農協改革を進めています。もうかる農業を実現するための農協、農業に係わる事業でもうけた利益を出資者に配当できる農協になれというのが、ただ、この法案の内容をよく見てみれば「協同組合」という前提がすっぽりと抜け落ちています。漁協としても見逃せない内容になっていきます。

ならば協同組合とは何でしょうか。ここではこれについて考えてみたいと思います。

協同組合には確固たる組織原理があります。誰のための団体かという組合員のための団体で

現在、政府は農協改革を進めています。もうかる農業を実現するための農協、農業に係わる事業でもうけた利益を出資者に配当できる農協になれというのが、ただ、この法案の内容をよく見てみれば「協同組合」という前提がすっぽりと抜け落ちています。漁協としても見逃せない内容になっていきます。

ならば協同組合とは何でしょうか。ここではこれについて考えてみたいと思います。

量販店とのパイプ太く 品目別に戦略、ブランド化も

養殖種別の販売戦略を具体的に話す小野専務

「宮城けんき市」の大阪でのホヤ販売などイベントをやってきたが、客寄せパンダの感があり一過性で具体化、定着できなかったから。

このため、まず量販店とのパイプを太くし、売っているところでイベントを行い販売を増やしブ

市をいろいろなところで売り出せば、これ自体もブランドとして使え役割を發揮する。

「魚」に集中することが重要です。

ここで出てくるのが協同組合という仕組みです。これは協同の事業を必要としている人達のための仕組み。これを使えば、先述の事業組織を合法的につくることができ

組合からのお知らせ

- ＜本年度の主要な取り組み課題＞
① 公的支援活用等による漁業者サポートの実施
② 漁業者の所得安定・向上への対応
③ 漁場有効活用に向けた漁業者ニーズの掘り起こし、および漁協の業務範囲拡大等による収益基盤の拡充
④ 事業本部制の運営、支所事務統合等を通じた効率的な業務運営態勢の構築・定着
⑤ 適切な経費コントロールの実施
⑥ 経営資源の有効活用等による組織力の強化

主要魚種の生産者および生産額の震災前(平成21年度)実績と27年度見直し(経営改善計画から。単位:人、百万円、%)

	平成21年度(A)		27年度(B)		(B/A)×100	
	生産者数	生産金額	生産者数	生産金額	生産者数	生産金額
ノリ	200	4,873	130	3,358	65.0	68.9
ワカメ	720	3,335	921	2,933	127.9	87.9
カキ	862	5,183	459	2,909	53.2	56.1
ホタテ	524	3,397	336	2,251	64.1	66.3
ギンザケ	75	4,416	59	4,802	78.7	108.7

通常総代会関連

地産から半成員養殖にシフトした地区で「地産を少しづつ増やしていきたい」という意向がある。われわれの考えにも近く賛成で、応援していく。

小野 いずれにしてもよりよい物を作る工夫は大切だが、バイヤーとの意見交換で消費者の需要動向を的確につかみ、生産に反映させるような努力も大事になる。各支部を通じて指導、啓蒙が中心になっていく。

当該事業年度および直前3事業年度の事業成績ならびに財産および損益の状況(昨年度事業報告から。単位:千円)

区分	項目	平成23年度	24年度	25年度	26年度(当期)
財務	事業利益	△872,060	431,701	511,749	940,036
	経常利益	△753,725	558,453	657,820	1,121,887
	当期剰余金	△459,103	637,706	785,933	1,421,218
	総資産	81,431,833	111,474,698	113,218,974	108,730,833
	純資産	8,083,380	8,693,115	9,425,269	10,762,365
	単体自己資本比率	23.39	20.92	22.76	26.46
信用事業	貯金	68,867,938	93,829,091	94,146,996	91,021,051
	預け金	56,760,699	77,324,833	76,286,699	77,310,069
	貸出金	14,530,473	24,101,674	26,001,556	19,758,126
共済事業	長期共済保有高	87,204,651	83,587,340	79,989,000	76,376,202
	短期共済契約高	147,007,170	34,455,900	36,409,030	38,175,120
購買事業	石油類供給高	2,370,546	4,773,222	5,245,339	3,861,196
	資材類供給高	3,560,088	14,110,761	8,269,389	6,834,497
販売事業	受託販売取扱高	7,069,275	17,225,107	21,464,205	28,757,996
	買取販売高	1,290,828	1,707,483	2,332,638	2,082,849

浜と密着しカキPR 新しい発想で日々前へ



伏見委員長と石巻地区支所職員の写真

石巻地区支所 組合員297人、うち准180人。職員は6人。販売扱いは平成26年度で9億8147万円で、「半島カキ」と呼ばれる養殖の鮮カキを主体に、定置網などの漁船漁業、乾のりなど。

かつての7単協を統合した支所で、牡鹿半島の付け根から東南岸、田代島の11にわたる浜を管轄。平成10年には、組合員数は約600人を数えていた。震災前に13人だった職員も今は6人となつてしまつたが、20、30代の若い力を中心に、浜に頻りに足を運び、職員と組合員との信頼関係は深



伏見眞司運営委員長



小野寺賢支所長

い。「組合員の皆さんは家族のように接してくれ、何事にも協力的です」と小野寺賢支所長は話す。震災後、着業者数は約半分になり、風評被害にも苦しめられたが、平成26年度は全品目単価もよく、カキ漁期以外の漁船漁業も順調な水揚げとなつて、震災前の金額10、13億円に近づいてきてい

る。補助事業等を活用し、今までに漁船72隻、かき処理場8つを復旧、浜に元気が戻り、資財もそろつてきた。まさにこれから」と伏見眞司運営委員長はいう。職員は週2回各浜を回り、ときには漁業者と一緒に作業して、浜の状況を常に把握。組合員からの要望を受け付けたり購買の注文をとったり、情報提供を行っている。半島カキのおいしさを多くの人に知ってもらおうと、生産者と一緒にイベントにも積極的に参加。消費の伸びも感じられるようになった。2月

には青年部や女性部とともに、「牡蠣尽くしツアー」を実施。養殖場を船で案内し、さまざまなカキ料理を味わってもらおうというツアーは好評で、漁業者にも、消費者の声を直接聞き、また自分の生産するカキに自信をもついい機会となった。青年部は耳つりカキの生産を始め、身入り、味ともに申し分のない良質の一粒カキをつくることに成功。今年度から販売する。また、むぎカキのインターネット販売にも挑戦。さらに、良質のカキを効率よくつくる新しい養殖方法を確立しようと、三重県に先進地視察にでかけるなど、日々前に進み続けている。女性部

も、魚食の普及・食育活動とともに、ソースやオイル漬けなど、新しい食べ方の開発に余念がない。震災で養殖場は全滅したが、6月に種を拾い集めてはさみ込みを行い、12月に宮城県で一番早く処理場を復旧。翌1月に1年もので出荷した。何もかも失い果敢として何中、再びやる気を起こさせてくれたのは、泥だらけのロープや浮き樽をがれきの中から拾い集めてくれたボランティアの人たち。この人たちに早く復興した姿を見せたい、おいしいカキを食べてもらいたいという思いで必死になった。伏見眞司運営委員長はボランティアの人たちとの交流を、今も大切に持ち続けている。「震災後、いろいろな人たちが入ってきて一緒に活動するようになり、見聞が広まった。消費者の声もきき、情報を得ることができるようになった。」課題は後継者の確保。そのためにも、「組合員の生活の向上」という、基本的に常に立ち返る。組合員の収益が上がれば、共济も信用事業もアップする。組合経営が順調にいくと指導や応援も充実でき、全てがよいサイクルに回り始める。漁業が、安定収入で時間的にも余裕のある、やりがいのある仕事と思えるような環境づくり、魅力ある浜づくりに力を注ぐ。

編集後記

今回の発刊にあたり浜を歩いたとき、活き活きと働く漁師の姿が目立った。この世のどんな世のどん底を見た時に、4年後に誰がこゝまで復旧できると想像したであろうか。全国からの温かなご支援、国の手厚い補助事業があり、われわれ漁業関係者は日本国民でよかったと感謝しております。

「次に叩く一回で、その壁は破れるかもしれない」こんな言葉が書かれている。「人は何回叩くと壁を破ることができる」と知っていたら、頑張れるものだが、何回叩くと破れるか解らないと途中で諦めてしまいがちだ」「あと一回叩けば壁が破られるかもしれないのに」確かにそうである。

この言葉はあの時からの人々、漁師と重なって見える。先がみえない中、ただひたすらに漁業の再開に向けて頑張り続け、このころ浜に笑顔が戻りつつあり、さらにこの努力は続いている。漁師の底力ここにあり。(指導部・H)

漁師の底力を見た

ある。毎日見ていると、なんだか心に響く。「次に叩く一回で、その壁は破れるかもしれない」こんな言葉が書かれている。「人は何回叩くと壁を破ることができる」と知っていたら、頑張れるものだが、何回叩くと破れるか解らないと途中で諦めてしまいがちだ」「あと一回叩けば壁が破られるかもしれないのに」確かにそうである。

俊光支所長は笑顔を見せ、この事業に感謝する。水揚げ、販売扱いばかりでなく、早期再開に向けた施設復旧でロープなど購買事業の扱いもプラスになったといい、恩恵は大きかった。

その志津川湾ではいま、国が日本の3カ所を進める持続的な資源、環境管理の手法を開発する調査研究の対象に選定され、東京大学などが調査している。世界最大の民間自然保護団体「世界自然保護基金(WWF)」の日本支部でも震災後、漁業経済調査や養殖の環境影響調査を実施した。

佐藤支所長は「これくらい豊かな湾はないと思う。養殖ばかりではなく、カツオの餌になるイ

親潮第1分枝の張出し平年並み 東北海区海況予報 水産総合研究センターが東北海区の7、8月海況予報をまとめた。①近海の黒潮主流の北限位置は平年並みやや北偏で推移②親潮第1分枝の張り出しは平年並みで推移③常磐沖の暖水塊は金華山沖の暖水塊に取り込まれ、常磐沖に冷水域が形成一との見通しだ。

成にも関わってくる」と運営委員長、支所長と後継者が悩み「後

る。毎日見ていると、なんだか心に響く。

「次に叩く一回で、その壁は破れるかもしれない」こんな言葉が書かれている。

この言葉はあの時からの人々、漁師と重なって見える。先がみえない中、ただひたすらに漁業の再開に向けて頑張り続け、このころ浜に笑顔が戻りつつあり、さらにこの努力は続いている。漁師の底力ここにあり。(指導部・H)

俊光支所長は笑顔を見せ、この事業に感謝する。水揚げ、販売扱いばかりでなく、早期再開に向けた施設復旧でロープなど購買事業の扱いもプラスになったといい、恩恵は大きかった。

その志津川湾ではいま、国が日本の3カ所を進める持続的な資源、環境管理の手法を開発する調査研究の対象に選定され、東京大学などが調査している。世界最大の民間自然保護団体「世界自然保護基金(WWF)」の日本支部でも震災後、漁業経済調査や養殖の環境影響調査を実施した。

佐藤支所長は「これくらい豊かな湾はないと思う。養殖ばかりではなく、カツオの餌になるイ

運営委員長、支所長と後継者が悩み「後

る。毎日見ていると、なんだか心に響く。

「次に叩く一回で、その壁は破れるかもしれない」こんな言葉が書かれている。

この言葉はあの時からの人々、漁師と重なって見える。先がみえない中、ただひたすらに漁業の再開に向けて頑張り続け、このころ浜に笑顔が戻りつつあり、さらにこの努力は続いている。漁師の底力ここにあり。(指導部・H)

俊光支所長は笑顔を見せ、この事業に感謝する。水揚げ、販売扱いばかりでなく、早期再開に向けた施設復旧でロープなど購買事業の扱いもプラスになったといい、恩恵は